

ルール無視の代価

七月二十三日、北京の八達嶺野生動物園で来園者が大きな虎に噛まれるという死傷事件が発生した。この事件で一人が死亡、一人が重傷となった。

この野生動物園の目玉は、自家用車に乗って動物園に入り、近距離で猛獣を見ることができるというコースである。当然、客はこの動物園の規則を理解し、規則文にサインした上で入園を許可される。

当日、夫婦、子供と妻の母親の四大家族がこの野生動物園に入った。途中、夫婦は些細な事で口喧嘩をした後、突然妻は乗用車のドアを開け、下車した。あつという間に近くの一匹の雌虎が下車した妻を噛んだ、救助するため夫と妻の母親が下車した。五十代後半の妻の母親は別の虎に噛まれて、その場で亡くなった。妻は重傷だったが、幸い

一命を取り留めた。

この野生動物園の死傷事件はすぐさま大きなニュースとなり、媒体から取り上げられた。世間の一番の関心事は、何故あんな危険な場所ですら妻が突然下車したかということである。ある記者が解放軍のエリート将校である当事者の夫の友人をインタビューして得た情報では、妻は三十代で、美人、高学歴という輝く一面がある一方、夫婦は時々些細な事で喧嘩し、いつも妻のほうが強くて、夫の方は譲歩することしか出

来なかったということである。

ネットではこの悲惨な事件について様々な論評がされた。一番多い意見は、中国人が規則、ルールをあまりにも無視しているというものであった。また、中国では交通事故も非常に多く、ルール違反はその重要な原因であるという意見も多いということである。

ネットの意見の中には、人間社会の雌虎は自然界の雌虎を無視した結果、大きな代価を払うことになったという皮肉な論評もあった。



規則、ルールを無視した結果といえあまりに悲惨だ...

月々の申込みを忘れて続けられなくなった...
と言う方のために

チョーお得な
定期購入

1年・6回コース **10%OFF**
半年・3回コース **5%OFF**

「簡単便利」と

定期購入のお客様が増えています
詳細は同送チラシをご覧ください